

COVID-19 多発事例の分子疫学解析

1. 研究の対象

2022年1月から2022年12月までの間にSARS-CoV-2が陽性となった患者が1部署5名以上を多発事例とした場合に該当した部署に入院されていた方。

2. 研究目的・方法

高知大学医学部附属病院では2022年1月から12月までの間に1病棟において複数の新型コロナウイルスによるアウトブレイクが発生した。アウトブレイクの原因の株が流行株であったかどうか、その他の変異株であったかどうか。感染経路はどのようなものであったかを調べることを目的としている。

方法は入院前あるいは入院中に採取した新型コロナウイルス感染症の検査のための喀痰を用いて、ウイルスが流行している型か、耐性株か、他の方との伝播の可能性があるかを調査する。

研究期間は、倫理委員会承認日～2024年3月31日となる。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

資料：入院されていた病棟と病室、入院期間、新型コロナウイルス感染症であったかどうか。

試料：喀痰

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知県南国市岡豊町小蓮 185-1

電話：088-866-5811

担当者名：高知大学医学部臨床感染症学講座 山岸由佳

研究責任者：高知大学医学部臨床感染症学講座 山岸由佳